# いわて自然公園特派員だより（岩手県自然保護課）

場所：八幡平の樹氷原

令和７年２月２日（日）　情報提供（文、写真）岡野　治

霧氷林内に目印テープ設置（標高1300m付近）

樹氷林内に竹竿設置（標高1400m付近）

岩手・秋田県境部にある八幡平樹氷原へは、秋田八幡平スキー場から登るコースが冬期のメインコースですが、どこでも歩ける雪原はコースが不明瞭となるので、地元の鹿角市山岳会では、冬期コース誘導のための目印設置を行っています。小生は2回目（1月26日）、3回目（2月2日）の作業に参加しましたが、今年は1回目、3回目が好天に恵まれ、秋八スキー場から山頂を経由して陵雲荘までの区間に竹竿やピンクテープによる目印設置が完了しました。（樹氷原の竹竿は30～40m間隔で設置していますが、強風で折れることも多々あり。）

藤助森から山頂方向の樹氷原

八幡平山頂（No.300の標柱）

今年は積雪量が多く、立派な樹氷が見られましたが、雪質は重く、パウダースノーは楽しめませんでした。先週は重い雪のラッセルに苦労しましたが、好天だった今回は先行者のトレースもあり、苦労せずに山頂に到達できました。鹿角市山岳会含め約20名の方がスキー、スノーシューで訪れていましたが、好天下の樹氷原に出会って大感激していました。多くの方は、山頂で引き返していますが、八幡平樹氷原は、山頂から南～東側にあるメガネ沼から八幡沼間が変化もあって素晴らしいので、好天時は少し欲張って山頂周辺も散策することがお薦めです。

山頂～八幡沼間の樹氷原から岩手山

山頂南側のメガネ沼付近の樹氷原